

岡山の公民館

No.55

平成27年3月 編集発行 岡山県公民館連合会

〒700-0016 岡山市北区伊島町3-1-1 岡山県生涯学習センター内 電話 086-251-9751 FAX 086-251-9757
ホームページ <http://www.pal.pref.okayama.jp/dantai/kenkouren/index.html>

備中ブロック



矢掛町中川公民館 Kidsわいわい塾
「子どもオリンピックーかるた取りー」

美作ブロック



新庄村公民館
「第33回新庄村体力づくり 新春ジョギング大会」

備前ブロック



瀬戸内市中央公民館 地域再発見ウォーキング
「砥石城跡・おくの細道アルプス編」

公民館記章



このシンボルマークは、公民館の「公」の字を圖案化し、しかも、全体の形を「館」になぞらえたものである。

昭和53年 4月1日 制定
昭和35年10月1日 適及適用

平成27年度 主な行事予定

- 平成27年度岡山県公民館連合会総会・研修会・ブロック会
日時:平成27年5月22日(金)
場所:岡山県生涯学習センター 大研修室 他
- 第37回全国公民館研究集会 in 鳥取 (第38回中国・四国地区公民館研究集会鳥取大会)
日時:平成27年10月15日(木)、16日(金)
場所:とりぎん文化会館 梨花ホール 他

Index

各ブロックから・主な行事予定	1
提言・平成26年度表彰	2
平成26年度岡山県公民館連合会事業	3
「平成27年度公民館「地域のつながりづくり」実証プログラム事業」企画プレゼンテーション大会	4
公民館ひと・ひと・グループ	5
フォトライター まちから むらから	6

「地方創生に向けて」

岡山県公民館連合会副会長（岡山県教育庁生涯学習課長） **中本 正行**



昨年10月、岡山市において「ESD推進のための公民館－CLC国際会議」が開催され、環境や防災、国際理解など多様な切り口から、地域の課題解決に積極的に取り組む岡山市の公民館活動が世界に発信されました。岡山県教育委員会としては、今後、岡山市の協力を得てこの会議の成果を県下に普及し、各地の公民館にESDの視点を取り入れることにより、その活動の意味や意義が見直され、一層活発化するよう取り組んでいきたいと考えています。

さて、県教委では、平成27年度の新規事業として、「若者が主役！地域まるごと活性化事業」を予定しています。この事業は、例えば、地域の祭りや観光ボランティアの実施、寺子屋教室の開催など、公民館を拠点にして、中高生や大学生自らが企画・運営する取組を支援するもので、若者が活躍できる場を創り出すとともに、地域への愛着心を高めること等を狙いとしています。多くの公民館から、それぞれの実態を踏まえた、持続的なまちづくりに資するようご提案をいただきたいと思っています。

昨年6月、日本創成会議からショッキングな報告がありました。それは、「地方の人口流出がこのまま続けば、2040年までに若年女性が半分以上になる市町村は全体の5割近くに上り、将来的に消滅するおそれが高い」というものでした。今後、国を挙げて、活力ある日本社会の維持のために地方創生に取り組むこととしていますが、この地方創生が目指すのは、地域に住む人々が、自らの地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いのある生活を送ることができる地域社会を形成することと言われています。

ESDの視点を取り入れ、若者を中心に、幅広い年代が共に参加する公民館の活動が、こうした地域社会の形成や地方創生に繋がっていくことを大いに期待しています。

輝く平成26年度 受賞

文部科学大臣表彰 優良公民館

●岡山市立岡西公民館

高齢化が進み、地域の結び付きが弱まる中でコミュニティを維持するために、住民が支え合う活動の仕組みづくりをESDの取組として実施している。

●高梁市高梁公民館

次世代の担い手である子どもたちを対象に、郷土の偉人・山田方谷や備中松山城等、高梁の文化・歴史等の学習・訪問を通して、郷土を愛する人材の育成を行っている。

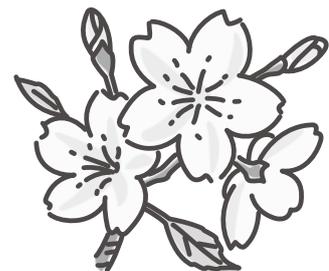


岡山県公民館連合会表彰(13名)

【優良職員表彰】

- 犬飼美紀子（倉敷市教育委員会児島公民館 主任）
- 安藤由希子（倉敷市教育委員会市民学習センター 司書）
- 青江 幸恵（前倉敷市教育委員会市民学習センター 主事）
- 河田 達夫（笠岡市高島公民館 館長）
- 三宅千代美（笠岡市六島公民館 主事）
- 宇根山 肇（笠岡市神島公民館 館長）
- 立間 晴美（笠岡市北川公民館 主事）
- 大江 保男（高梁市巨瀬公民館 館長）
- 小橋 智裕（備前市教育委員会公民館活動課日生地域公民館 主査）
- 茅野 裕子（前瀬戸内市中央公民館 主任）
- 岩本美代子（赤磐市立山陽公民館 臨時職員）
- 今城 幸代（里庄町中央公民館 社会教育指導員）
- 小林 洋榮（鏡野町泉公民館 館長）

（敬称略・順不同）



平成26年度 岡山県公民館連合会事業

【平成26年度 理事会・総会・第1回研修会】

日時 平成26年5月30日(金) **場所** 岡山県生涯学習センター
理事会・総会の内容 ●平成25年度事業報告・決算報告及び監査報告
 ●平成26年度事業計画(案)及び予算(案) 他

研修会 講演 岡山プレゼン塾①「心と心をかよわせて～心をつかむ話し方～」
 講師 アナウンサー、エッセイスト

公益社団法人 全国公民館連合会 理事 村松 真貴子 氏

笑顔や視線を意識して話すことの大切さやコミュニケーションの3つの柱(①よい人間関係を作る ②情報を伝える ③相手の心を動かす)について教えていただきました。



【第2回研修会(兼：社会教育施設職員等研修会)】

日時 平成26年7月15日(火) **場所** 岡山県生涯学習センター
内容 ○説明 「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」について
 文部科学省生涯学習政策局社会教育課 課長補佐 米本 善則 氏

○実践発表

- 「町民全員で子ども・若者をサポートする体制づくり」 (勝央町教育委員会)
- 「牛窓まちなか防災協働訓練の取組み
 ～地域・行政がともに想創し、実践するシナリオなき防災対応型協働訓練～」 (瀬戸内市中央公民館)
- 「公民館等を活用した津山市地域連携型家庭教育支援事業」 (津山市教育委員会)
- 「持続可能なまちづくり～地域コミュニティの再生～」 (玉野市立中央公民館)
- 「みんなでつくる“せとうちデジタルガイドマップ”」 (瀬戸内市教育委員会)

助言 神戸学院大学現代社会学部現代社会学科 教授 清原 桂子 氏

「一人一人が担い手になっていく社会をどうつくっていくのか、仕掛けられるのは、まさに社会教育であり、公民館の強みであるノウハウとノウハウが役に立っていく。」というお話をいただき、持続可能な人づくり・地域づくりの実現を担う公民館の今後の取組の方向性について学ぶことができました。

文部科学省生涯学習政策局社会教育課 課長補佐 米本 善則 氏

「どこを目指して、どれだけのことができたのか、何ができてきたのか、苦労や工夫したポイントについて時間の半分以上使ってコンパクトにまとめて発表するのがよい。」というお話をいただき、効果的な伝え方についても学ぶことができました。



【第3回研修会】

県南会場 日時 平成26年8月19日(火) **場所** 岡山県生涯学習センター

県北会場 日時 平成26年8月26日(火) **場所** 津山教育事務所

内容 講義・演習 岡山プレゼン塾②「論理的にプレゼンする力をつける！」

講師 特定非営利活動法人 岡山NPOセンター
 副代表理事・事業統括長(ディレクター) 石原 達也 氏

「これからの地域に必要なのは、コーディネーターではなく、プロデューサー。誰を巻き込むと効果的かを考える。」ということも教えていただき、公民館や社会教育関係者としての今後の方向性を考えるきっかけも与えていただきました。



【第4回研修会(兼：「ESD推進のための公民館-CLC国際会議～地域で学び、共につくる持続可能な社会～」)】

日時 平成26年10月9日(木)・10日(金) **会場** 岡山コンベンションセンター、市内公民館

特別分科会「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム中間発表会」

発表 勝央町、瀬戸内市、津山市、玉野市

特別分科会「映画でまちづくりフォーラム」

日時 平成26年10月10日(金) **会場** 岡山コンベンションセンター

内容 ○岡山「公民館ムービー『祭り囃子が聞こえるとき』」上映
 ○映画「ふるさとがえり」上映
 ○トークセッション

脚本家、Fire Works取締役 栗山 宗大 氏
 movie OKAYAMA 山田 信和 氏
 全国公民館連合会 事務局次長 村上 英己 氏
 岡山県公民館連合会 書記 竹林 京子 氏



【第5回研修会】

日時 平成27年1月15日(木) **場所** 岡山県生涯学習センター

内容 ○報告・演習 「これからの公民館の可能性を探る-ESD推進のための公民館-CLC国際会議の成果をもとに-」

○発表 岡山プレゼン塾③

「平成27年度公民館『地域のつながりづくり』実証プログラム事業 企画プレゼンテーション大会」

※詳細については、P4に記載。

岡山プレゼン塾③

「平成27年度公民館『地域のつながりづくり』実証プログラム事業」
企画プレゼンテーション大会

「地域を何とかしたい」「発表者として参加することで勉強したい」という思いから応募いただいた5つの公民館が企画プレゼンテーション大会（平成27年1月15日）に臨みました。

どの公民館も、持ち時間の10分間で効果的にアピールすることができるようにと、独自の演出が盛り込まれた発表方法を準備されており、7名のモデル公民館選定委員会委員をはじめ80名を超える参加者を前に、オリジナリティあふれる企画提案が繰り広げられました。

企画提案を行った実行委員会(公民館) (プレゼンテーション順)

①光南台地区農地活用等地域づくり実行委員会(岡山市立光南台公民館)

・イノシシ被害を地域課題とし、地域住民の力で解決する事業として、様々な団体と連携し、農地復元・貸出事業、耕作放棄地整備・植樹事業、イノシシ防獣事業に加え、“共生”という視点からイノシシ共生事業(山中にどんぐり等の植樹)についても企画。



②吉川公民館「地域のつながりづくり」実行委員会(吉備中央町立吉川公民館)

・世代間交流が困難な現状から、参加者が誰とでも話ができ、自分の思いを人に伝えることの楽しさを味わうことができ、子どもも高齢者も一人一人が役割をもつことができる事業として、吉川古きを学ぼうツアーをはじめ、すべての講座内でおふくろの味体験も企画。



③美作市「地域のつながりづくり」実証プログラム事業実行委員会(美作市中央公民館)

・地域の大人や子どもに地元愛や地域への誇りをもってもらえる事業として、旧巨勢小学校(現在廃校)の跡地を地元音楽演奏家の演奏会場として提供し地域住民に「生演奏」を体験してもらう、廃校などの再利用を地域住民と共に手がけるといった音楽を通じた地域づくりを企画。



④久米南町「地域のつながりづくり」実証プログラム事業実行委員会(久米南町中央公民館)

・子どもたちの健全育成につなげる事業、応募してきた久米南中学校生徒たちが運営に参加することで、作る楽しさ・難しさ・感動を味わうことができる事業として、お化け屋体験、体験コーナー、ステージイベント、川柳俳句BOXを企画。



⑤陶山地区ふれあいまちづくり納涼祭実行委員会(笠岡市陶山公民館)

・継続していくことで、ふるさとを愛し、郷土を大切に作る人づくり、地域のつながりを強めていくことができる事業として、中学生に地域活動ができる出番を与え、地域住民、福祉施設関係者、金浦中学校教職員・生徒たちが一緒になって作り上げていく納涼祭を企画。



プレゼンテーション大会終了後、モデル公民館選定委員会が開催され、次の3実行委員会(公民館)が選定されました。

- 光南台地区農地活用等地域づくり実行委員会(岡山市立光南台公民館)
- 吉川公民館「地域のつながりづくり」実行委員会(吉備中央町立吉川公民館)
- 陶山地区ふれあいまちづくり納涼祭実行委員会(笠岡市陶山公民館)

来年度も、「平成28年度モデル公民館『地域のつながりづくり』実証プログラム事業」の公募を行います。

第26回全国公民館セミナーに参加して

平成27年1月28日(水)～30日(金)の3日間、国立オリンピック青少年記念センターにて開催された「第26回全国公民館セミナー」に参加された感想を紹介します。

◆久米南町教育委員会 教育課 主任 丸山 芳寛◆

2日目の第3分科会「映画で広がる地域の輪—映画を使った地域づくり—」に参加して率直に思ったのは、心を一にするというのは本当に大変であるということ。ただ、心が一つになっていくにしたがってすごいプロジェクトが達成するものだなと思いました。

映画作りはあくまでも一つの手段であること、きっかけやプロジェクトがどのような形でも、人と人が繋がり仲間が増えることによってそこにコミュニティができ、次第に情報が行き交い地域活性に繋がっていくことを学びました。また、住民や公民館職員がいろいろなプロジェクトを楽しみながら提案できる場を設けていく必要があることも学びました。

◆里庄町中央公民館 社会教育指導員 今城 幸代◆

充実した3日間を過ごすことができました。中でも、2日目のワークショップ「公民館運営Q&A」では、元船橋市北部公民館長の朱善寺宏一さんから、公民館の現場での経験をもとに、社会教育法第23条の解釈について、参考例とともに判断のポイントを学べたことが、とても役立ちました。

社会の変容とともに、地域づくりがますます難しくなっている今、子どもからシニア世代まで幅広い人間関係のつながりが広がる「公民館」だからこそできる、地域住民の居場所づくりやネットワークづくりが注目されています。地域に開かれ、地域住民の活動拠点として取り組むことが、これからの公民館が担う新しい役割であると、この3日間のセミナーで学びました。公民館が地域づくりの拠点となるよう、わが町「里庄町」でも意識して取り組んでいきたいと思えます。

公民館 ひと・ひと・グループ



《備前ブロック》 学び館「サエスタ」

『寿学級』

「寿学級」は、和気町内佐伯地域の高齢者を対象に毎月開講している、高齢者の生きがいづくりを目的とした公民館講座です。

登録会員は年々減少傾向にあります。現在の会員41名で、地域の歴史学習などの講演を聞いたり、フラワーアレンジメント、型染めなどの実習、また年2回町外へ出かけ、県内外の美術・芸術施設を訪れたりして日々感性を磨いています。

1年を通して、新しい知識を増やし、また新しい趣味を見つけ、日々の生活に変化や彩をつけるべく、今後も楽しく学べる地域高齢者の交流の場を提供していきます。



《備中ブロック》 浅口市中央公民館

『ボランティア人形劇サークル「風の子」』

ボランティア人形劇サークル「風の子」は、平成元年に結成された会員36名の団体で、子どもたちと地域の方々、そして学区を越えた子どもたちのつながりづくりに向けて、メンバーが一丸となった活動を展開しています。

このたび市教育委員会から子どもたちの学力向上を目指して中央公民館で開講している「まなびバ!」への協力依頼があり、サークル活動の一環として参加しました。

講座では、地域の偉人に関する大型サイズの歴史紙芝居やA4サイズの防災カルタなどをサークルのメンバーが手作りし、読み聞かせや防災のお話に使用し、子どもたちに楽しく教えることができました。

これからも子どもたちの笑顔のためにメンバー一同活動を続けていきたいと思っています。



《美作ブロック》 真庭市久世公民館

『久世生涯学習推進会議』

平成12年から活動する久世生涯学習推進会議は、真庭市久世公民館を活動の拠点として、生涯学習講座や講演会を開催しています。

神社の旧参道・古道を散策する講座や松の剪定を行う講座の他、初めての試みとして、和菓子作り教室を開催することができました。参加者の多くは女性でしたが、小学生や男性も参加されました。日頃何気なく食べている和菓子は実は意外と簡単に作れることや手間のかけ方でひと味違うものになるということを発見してもらえ、楽しい講座を開催することができました。



まちから
むらから

フォトレター



玉野市立中央公民館



「たまの地域人づくり大学事業」

地域で役立つ人材育成を目的に開講し、受講生は、地域づくりの代表として各地区でサロン活動の開催、ボランティアグループを立ち上げる等現在も継続した活動を行っています。写真はシニア世代いきいき講座「おやし塾」の受講生が玉野まつりに参加した様子です。

赤磐市立中央公民館



元気もりもり講座⑨「心の健康編～笑いヨガでリフレッシュ～」

高齢者の健康寿命を延ばす介護予防について学ぶ講座として、60歳以上の方を対象に10回シリーズで、毎回いろいろな講師の方を迎え開催しています。9回目の「心の健康編」では「笑いヨガ」で、思いっきり笑って、心も体もリフレッシュしました。

総社市清音公民館



「緑と健康クラブ」カヌー体験

年間を通じて自然と向き合うドキドキ体験をしようと小学生を募集。今年は18名が参加し、田植えや芋づくり、カヌー体験、2泊3日のサバイバルキャンプ、稲刈りやわらぐるづくり、洞窟探検、餅つき、そりづくり、雪原体験などをしました。

笠岡市中央公民館



「フレッシュ！からだづくり」

毎月1回、肩こり・腰・ひざの痛みを予防するため、椅子に腰かけた状態で、無理なく体づくりに励んでいます。インストラクターの指導のもと、ゆっくりと体を動かし、声を出し、皆で楽しくやっています。

西粟倉村教育委員会



「あわくら探検クラブ」

小・中学生を対象に年間8、9回活動しています。今年度はキャンプや雪あそびのほか、村内の方々の協力を得て、ブルーベリー狩りやグラウンドゴルフ体験を行いました。郷土の自然にふれ、いろいろな世代と交流することによって、子どもたちに生まれ育った村に愛着や誇りをもってもらうことを目指しながら、大人も子どもも明るく楽しく活動しています。

久米南町中央公民館



「カッピーおぼけ屋敷」

今年度はじめての取組として、8月16日(土)、17日(日)にカッピーおぼけ屋敷を開催しました。町内外から多くの家族連れが訪れ、2日間で352人が来場しました。こわばった顔をしている子どもや泣いて出てくる子どももあり、夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。